

平成29年度予算の概要

学校法人 神戸薬科大学

平成29年度予算は、平成28年12月21日に開催した評議員会及び理事会において承認された予算大綱に基づき編成した。

資金収入については、学生生徒等納付金収入は、学部の授業料を前年度と同額の年間1,800千円とし、入学予定者数を270人として積算した。手数料収入は、学部入学検定料について入学志願者の減少を見込み、前年度比減額とした。寄付金収入は、奨学寄付金を中心に前年度と同額とした。補助金収入は、経常費国庫補助金、学術研究振興資金他を計上した。付随事業・収益事業収入は、国立保健医療科学院からの医薬品費用対効果評価分析受託による受託事業収入の増加を見込み前年度比増額とした。受取利息・配当金収入は、運用利回りの低下を見込み、前年度比減額とした。その他の収入は、退職給与引当資金からの繰入分他を計上した。

資金支出については、人件費は、実習・演習等教育支援のためのSA制度新設に伴う予算措置を行った。教育研究経費支出は、経常の研究室配分研究費、長期実務実習・共用試験関係費、学長裁量経費の他、国立保健医療科学院からの医薬品費用対効果評価分析受託に係る費用など教育研究体制の充実を図るための計上を行った。管理経費支出は、経常経費の節減に努め、前年度比減額とした。施設関係支出は、前年度からの地域連携サテライトセンター建築費、「キャンパス整備計画」における新8号館建築に続く新2号館建築設計費（着手時）他、設備関係支出は、「キャンパス整備計画」の一環としての学内LAN更新の他、教育研究環境の整備・充実のため10号館他照明省エネ化対策工事、液体窒素製造自動供給装置、関係委員会選定の研究用機器や実習用機器の購入費他を計上した。資産運用支出は、今後の「キャンパス整備計画」に係る支出に備えた第2号基本金引当資金や新たに中型機器の計画的な取得のため当年度から積立を開始する研究充実準備積立金を積立計上した。以上の結果、翌年度への繰越金は、前受学生納付金を上回るが、予算執行に際しては一層の支出削減に努めたい。

I. 資金収支

1. 資金収入

(1) 学生生徒等納付金収入

学部学生授業料は、新入生270人・2年次生284人・3年次生291人・4年次生304人・5年次生261人・6年次生295人を1,800千円とし、入学金は400千円とした結果、その他と合わせ前年度比6,500千円増の3,211,900千円を計上した。

(2) 手数料収入

学部入学検定料は、入学志願者の減少を見込み、センター入試を含めて97,000千円と想定し、その他の手数料と合わせ前年度比400千円減の112,400千円を計上した。

(3) 寄付金収入

奨学寄付金他で前年度と同額の15,000千円を計上した。

(4) 補助金収入

経常費国庫補助金は、特別補助を含め260,000千円、学術研究振興資金4,000千円、その他の補助金を合わせ合計264,100千円を計上した。

(5) 付随事業・収益事業収入

補助活動収入は、前年度実績を勘案し寮生の現員に合わせ32,000千円、受託事業収入は国立保健医療科学院からの医薬品費用対効果評価分析受託に係る収入13,000千円他で18,000千円、合わせて前年度比12,500千円増の50,000千円を計上した。

(6) 受取利息・配当金収入

運用資金の29年度期中予想100億円を、利回り平均0.45%で運用するとして、前年度比12,500千円減の45,800千円を計上した。

(7) 雑収入

退職金財団交付金102,000千円他で125,000千円を計上した。

(8) その他の収入

退職給与引当資金32,000千円の繰入の他に、前期末未収入金68,000千円を加え、合計100,000千円を計上した。

2. 資金支出.

(1) 人件費支出

人件費は、教員 86 人、職員 46 人、教育研究支援職員 16 人及び非常勤教員とアルバイト職員（新設の S A 制度に係る手当で 6,000 千円を含む）他の給与に退職金を合わせ、1,790,500 千円を計上した。

(2) 教育研究経費・管理経費支出

・教育研究経費支出：長期実務実習関係費 202,300 千円、共用試験関係費 26,800 千円、学長裁量経費 25,000 千円に加え、国立保健医療科学院からの医薬品費用対効果評価分析受託に係る費用 13,000 千円、学籍管理システム更新 6,000 千円、英語 e-learning システム更新 2,200 千円、不要薬品処分費 2,000 千円、講義収録システム保守料 2,000 千円などの新規案件があるが、経常経費の節減に努め、前年度比 25,900 千円減の 1,177,800 千円を計上した。

・管理経費支出：学納金システム更新費 10,000 千円、事務オープンシステムカスタマイズ費 3,000 千円、地域連携サテライトセンター広報・広告費 2,500 千円他で前年度比 39,200 千円減の 273,800 千円を計上した。

(3) 施設・設備関係支出

・施設関係支出：地域連携サテライトセンター建築費 137,000 千円、新 2 号館建築設計費（着手時）12,000 千円、1 号館トイレ改修 11,800 千円、4 号館 2 階教養課程パーティション改修 8,000 千円、5 号館 4 階内装改修 6,600 千円他で 188,800 千円を計上した。

・設備関係支出：学内 LAN 更新 90,000 千円、10 号館他照明省エネ化対策工事 15,000 千円、液体窒素製造自動供給装置 7,800 千円、証明書自動発行機 7,200 千円、10 号館電気錠 6,500 千円、薬品管理システム 6,500 千円、関係委員会選定の研究用機器費 21,000 千円、実習用機器費 3,500 千円、図書費 8,800 千円他で 206,800 千円を計上した。

(4) 資産運用支出

第 2 号基本金引当資金（教育環境整備資金）300,000 千円、第 2 号基本金引当資金（大型機器充実資金）20,000 千円、第 2 号基本金引当資金（施設設備整備資金）50,000 千円、研究充実準備積立金 5,000 千円の各積立により 375,000 千円を計上した。

(5) 予備費

各科目の予備として 20,000 千円を計上した。

(6) 翌年度繰越支払資金

翌年度繰越支払資金は 708,300 千円となり、前受金収入 394,200 千円は維持できる。

II. 事業活動収支

事業活動収支については、教育活動収支差額 26,700 千円の支出超過、教育活動外収支差額 45,800 千円の収入超過を合わせ、経常収支差額は 19,100 千円の収入超過となるが、特別収支差額や予備費を含めた基本金組入前当年度収支差額は 900 千円の支出超過となる。ここから基本金 615,500 千円を組入れした当年度収支差額は 616,400 千円の支出超過となり、さらに前年度繰越収支差額 10,900 千円の支出超過を加えた最終的な翌年度繰越収支差額は 627,300 千円の支出超過となるため、前年度以上に経費節減を進め、収支の改善に努力したい。